

宮古・釜石・大船渡発

「音の出る信号機」設置

第37回ラジソンには1085万円余りの募金が寄せられました。この「通リゃんせ基金」で沿岸被災地3か所に音の出る信号機が設置され、運用がスタートしました。(5/27 ニュースエコー)



宮古発

「真崎わかめ」再生事業



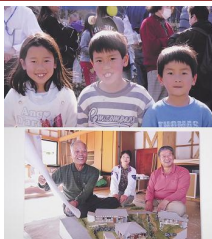
大手飲料メーカーの支援を受け進められていた宮古市田老の特産品「真崎わかめ」のブランド再生に向けたプロジェクトが完了しました。

新商品の開発やパッケージデザインの一斉、ホームページ制作による販路の開拓など様々な事業が行われ、6月からはオンライン販売がスタートします。(5/28 ニュースエコー)

盛岡発

「命のかがやき」パネル展

震災に負けず、前に進もうと一歩を踏み出した人々を紹介する「東北復興パネル展～命のかがやき～」が盛岡市民文化ホールで開かれました。東北創価学会が被災地での支援活動や取材活動を通して出会った人々をパネルで紹介しています。(5/29 ニュースエコー)



宮古発

トンネル貫通・見学会



三陸沿岸道路「檜内第一トンネル」の建設現場で、地元宮古市の田老第一小学校の3・4年生と田老第一中学校の1年生合わせて74

人がトンネル貫通の瞬間に立ち合いました。残り1メートルほどの壁を重機が掘っていく様子を見学し、トンネル内に光が差し込むと子どもたちは歓声を上げ、バンザイと拍手で貫通を喜びました。(5/29 ニュースエコー)

大船渡発

「越喜来高架橋」連結式



復興道路の吉浜道路「越喜来高架橋」で橋をひとつに繋ぐ連結式が行われました。式には地域の人たちも招かれ、海面から100メートルの高さから望む越喜来湾の眺めを楽しんでいました。(5/30 ニュース)

宮古発

「渚亭たろう庵」

宮古市田老地区の中心部に、新たに宿泊施設『渚亭たろう庵』がオープンしました。たろう庵は海拔60メートルの高台に建てられ、全13室の全てに露天風呂が付き、三陸の絶景を楽しむことができます。復興が進む田老地区の観光の拠点として期待されます。(6/1 ニュースエコー)



大船渡発

ツバキで地域おこし



大船渡市は、市の花・ツバキを活用したまちづくりを進めるため、JICA（国際協力機構）で活躍してきた神奈川県海老名市出身の小島海さんを復興支援員として採用しました。

任期は来年3月末までで、ツバキを資源とした地域おこしに取り組みます。(6/1 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの木村悠里さんが、6月13日(土)・14日(日)に行われる「宮古街なか復興市」について伝えてくれました。宮古市民が一体となって商店街を会場に各種イベントを実施することで、街に賑わいと元気を与え、宮古の大震災からの再生を目的として開催されます。「宮古・下閉伊産直うまいもの市」など大人も子供も楽しめるイベントが満載ということです。(6/3)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122